県議会議員

梅津ようせい 県政レポート

UMETSU YOSEI

vol. 6

2024／春号

自民党の裏金や不適切なダンス鑑賞等の問題を許してはならない！

山形県議会議員として４年目へ

～農林水産常任委員長に就任～

令和３年１月に補選で当選してから４年目に入り、農林水産常任委員長という新しい役を務めることになりました。

２月定例会で農業関連「フルーツステーション」事業を自民党会派が否定し、令和６年度予算案が否決される事態となりました。

山形県を「果樹王国」としてブランド化するための予算でしたが、山形県を将来売り込む際の目玉の一つとなる「果樹（フルーツ）」を基軸とした事業が否定されてしまったことは非常に残念なことでした。

とは言え、県の基盤産業である農林水産業をこれからどう維持・発展させていくのかを引き続き考え実行していかねばなりません。

様々な課題に対する意見等が提起される同委員会を委員長としてまとめるよう誠心誠意努めていきます。

正月の能登半島地震の教訓反省も踏まえた防災対策や少子高齢化社会の中で安心して生活するために必要な事柄など、県政課題は山積しています。

幸せが感じられる社会を作るため、提言と行政監視を議会で続けていきたいと思いますので、県民の皆様の声を引き続きお寄せいただきますようお願い申し上げます。

議会活動 予算特別委員会

令和６年度予算案について質問

３月７日の予算特別委員会予算案審査で質問に立ちました。

正月の能登半島地震を踏まえた住宅耐震化の進展状況（山形県は全国平均以下）や盛土規制法による規制区域指定に向けた現状、指定重要文化財の耐震状況や旧山形師範学校講堂への対応、文翔館～三島通り～旧山形師範学校に向かう地域のまちづくりへの取組み、農業における外国人材活用等について質問しました。（次頁Q&A参照）

詳細は動画でご覧下さい。

防災減災特別委員会

知事に対して政策提言を提出

防災減災・持続可能な地域づくり対策特別委員会の委員長として、「県内外における大規模地震への対応力強化」をテーマに１年間、委員の皆様と議論を重ねてきました。

他分野の提言を含め、議長より知事に対し以下をポイントとする提言を手交しました。

① 自助、共助で９割が助かるというデータを踏まえ「自分の身は自分で守る」行動のできる人材の育成
② 多様な被災者に寄り添う避難支援の充実
③ 首都直下地震等広域的な災害に対する山形県としての支援体制強化の必要性
④ 防災分野でのデジタル技術の活用

詳細はこちらからで→

議会活動　厚生環境常任委員会

令和５年度は、厚生環境常任委員会に所属し活動させていただきました。

委員会質疑では、私からは物価高で苦しむ福祉施設への支援や障害児歯科診療体制整備について、中高年で引き込もらざるを得なくなった方々への対応、安心してＨＰＶワクチンを接種できる環境の整備・推進、環境保全及び農作物の被害低減のための鳥獣害対策、当事者に寄り添った同性パートナーシップ証明書の発行・回収などについて質問し、県当局の考えを聴取しながら提案させていただきました。

現地調査では、県内では山大医学部東日本重粒子センターや真室川のオンライン診療等医療の現場、県内子育て施設の現況比較、水耕栽培を行い収益を上げる障害者施設の状況等を、県外では燃料として水素の活用を図る企業等の先進事例を調査し、委員会で県の施策を審議する際の資としたところです。

Q&A　予算特別委員会、決算特別委員会の質疑から

Q　令和６年３月７日　予算特別委員会

旧山形師範学校講堂を現在の教育財産から一般財産へ移管し、本館施設と一体的な活用を図ることが望まれるが、県としての基本的姿勢について問う。

A

講堂については日本近代建築史上貴重な存在であると認識され県指定とされた。国の指定文化財とされた旧本館と同じ個所も多いことも踏まえ、旧講堂について今後文化庁職員に視察してもらうが、一体の物として価値があるかも含めて助言をもらうが、関係者との意見交換も踏まえながら方向性を決めていく。

Q　令和５年１０月２５日　決算特別委員会

道路の関係予算については、県土整備予算（一般会計）に占める割合が近年下がってきており、県債の充当割合も下がっている。特に道路の維持管理関係予算については、国からの交付税措置が得られ地方にとって有利な「事業債」をもっと活用すべきではないか？
（信号機のLED化についても同じように事業債が利用できるのでもっと活用してほしい。）

A

国土交通省も事業債の積極的活用を求めており、本県においても県単独予算及び使用できる事業債を活用し、快適な道路を維持できるようにしていきたい。

令和6年度予算では別枠で道路舗装の老朽化対策として事業債11.8億円分を確保。
信号機のLED化対策費として事業債1億7,760万円を確保し、基数として約2.5倍の改修に。

詳細は動画でご覧下さい。

令和６年度山形県予算（注目の主な事業）

安心・安全な暮らしの確保関連

- 個別避難計画等の策定に向けた体制整備
- 耐震シェルター等の整備に、従来の住宅リフォームと別枠の支援枠を確保 **約4,500万円**
- 高校生自転車通学ヘルメット購入補助（通学許可者） **1個2,000円値引**

多文化共生元年関連事業

- 多文化共生推進プラン（仮称）の策定
- 外国人材活用支援窓口の設置 **約2,898万円**
- 農業面での人材活用トライアル事業（農繁期に他県からリレー派遣）等 **約1,468万円**

令和６(2024)年度
山形県予算
6,497億8,345万円

健康福祉関連事業

- 不妊検査(3万円(1回))，治療補助(採卵5万円，胚移植4万円，精巣内精子採取9万円) **約1億513万円**
- 小学生や子育て中の当事者の声を聴く会の開催と「山形県こども計画(仮称)」の策定等 **約7,482万円**
- 「健康長寿日本一」実現を目ざし、歩き方教室、アプリを活用したウォーキング大会等の開催 **約1,147万円**

施設等整備事業関係

- 屋内スケート場整備
  基礎調査の結果を踏まえ意見聴取(有識者等)
- 県立博物館整備
  基本構想の策定に必要な基礎調査の開始
- 山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備のための基金造成 **約5億円**

教育関係事業

- 小・中学校等教員業務支援員(324人)，中学・高校部活動指導員(125人)の配置，学校弁護士相談体制整備 **約8億1,700万円**
- 中学校休日部活動の段階的地域移行(実証事業等) **約9,657万円**
- 県外からの高校受入れのための見学ツアー・情報発信（山形北高音楽科等） **約1,200万円**

活動記録写真（公務も通常の形に戻ってきました。）

山形PAスマートインター開通

滝山地区（譲川）で稲刈り

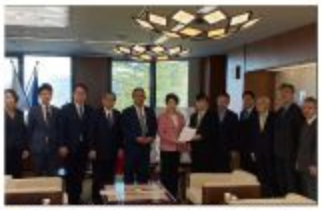
やまがた森の感謝祭（植樹支援）

岩手・宮城地震現地調査

連合山形旗開き

国スポスキー大会（蔵王温泉）

能登半島地震支援募金活動


旧師範学校講堂関連知事要望

酒田火力発電所調査

山形県議会広報・広聴委員会 ～学生・生徒等と意見交換～

副委員長を務めた広報・広聴委員会は、議会の活動を広く県民に伝えるとともに、声を聴く役割を担っています。

特に、高校生や大学生との意見交換は主権者教育の一翼を担っており、地方自治の二元代表制を知る良い機会になっていると思います。

山響の議会での演奏会や委員会の見学会、議会ギャラリーで高校や大学の諸活動の展示等も行っています。

一年間の活動の報告を取りまとめ議長に提出しました。

防災一口メモ

①対口支援をご存知ですか？

対口（たいこう）支援は、災害の際に被害状況や人口規模などを踏まえて、国が被災自治体を支援する相手を割り当てる制度です。

能登半島地震では県及び市町村から新潟市へ20人態勢で支援員が派遣され、行政事務支援を行いました。

②に示す「被災地支援チーム」については、被災地への「派遣」の他、山形県が被災した場合の「受援体制」を整備することも求められています。

山形県は災害福祉支援ネットワークによる「受援」の手順が未検討であり、令和６年度に検討するとの答弁がありました。

②被災地支援チーム

能登半島地震に際し、山形県から以下のような「支援チーム」が派遣されています。

DMAT（災害派遣医療チーム）
被災地にいち早く入り被災者の医療を支援します。

DPAT（災害派遣精神医療チーム）
被災者のメンタル面での専門的支援を行います。

DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）
被災地の保健所等自治体の事務を支援します。

DWAT（災害福祉支援チーム）
被災した高齢者や障害者などのニーズ調査・対応やケアを支援します。

議員定数等検討委員会委員に就任

次期２０２７年改選期を見据えて定数や選挙区について調査、協議を行う議員定数等検討委員会の委員に就任しました。

１票の格差の課題以上に「選挙のない県議会議員選挙区」が半数以上という県内の状況です。これで民意が反映されているのかという議論もあります。

人口減少や地域性も踏まえ、慎重かつ積極的な議論を進めてまいります。

県議会議員 梅津ようせい事務所 TEL:023-687-1643
〒990-2332 山形市飯田2-2-3 Kビル FAX:023-687-1648 E-mail:umetsu@umetsuyosei.com
HP アクセス▶